

ロシア 東欧 経済速報

(社)ロシア東欧貿易会

2003年(平成15年)8月25日号 No.1270

目次

● 2003年夏ロシアの政治情勢	音羽 周 1
● キーパーソン	4
ファルフジノフ・サハリン州知事が事故死 / 4	
● エトセトラ	5
トルクメニスタンとウズベキスタンの経済合同会議の報告書 / 5	
ロシア極東 / ハバロフスクの中小企業に関するレポート / 5	
新刊案内 塩原俊彦著『ロシアの軍需産業』 / 5	
● ロシア東欧貿易会関連の行事予定	6
● CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	6

2003年夏ロシアの政治情勢

はじめに

2003年夏、ロシアは再び政治の季節に入りつつある。今年12月に予定されている議会・下院選挙は、来年3月に予定されている大統領選挙の前哨戦と位置づけられている。今のところ、プーチン現大統領の再選が有力視されているが、ポスト・プーチンを睨んだ動きも急である。

以下では、最近起きたロシアにおける主要な新興財閥(オリガルヒヤ)のうちのひとつに対する権力側の実力行使を分析し、その意味するものを検討する。

ロシアの安定化の背後にあるもの

プーチン大統領の統治下で、ロシア経済は復興・成長を遂げることになるが、この背景として、ルーブルの切り下げによる輸入代替効果や国際市場における原油価格の高騰といった幸運に恵まれたことが大きく寄与していることがあることは、衆目の一致するところである。さらに、原油価格の高騰を追い風に、これまでマネー・ゲームに興じていた新興財閥が1998年夏の金融危機から立ち直り、実物経済への本格的な投入を始めたことを無視するわけ